

● 日本OR学会各賞の候補ご推薦のお願い —副賞金を増額します—

本学会では、研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞、業績賞、実施賞、普及賞、論文賞、学生論文賞を設定し、それぞれの分野で顕著な成果・業績を挙げられた個人や企業を毎年表彰しております。つきましては、今年度も受賞候補者の積極的なご推薦を募ります。

なお、「学会活性化」の一環として、若手OR研究の一助としていただけるよう、2016年度表彰より副賞金の増額を決議しました。ただし、本措置は2021年度までの暫定としており、その時期に再検討を予定しています。

推薦締切日

1. 業績賞、普及賞、実施賞：2015年11月30日
2. 研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞：2016年1月31日
3. 学生論文賞：2016年3月31日

推薦状は、学会HP <http://www.orsj.or.jp/whatisor/award7.html> からダウンロードしてご利用ください。

過去の受賞者一覧は学会HPに掲載しています。

〔研究賞〕

昭和43年（1968年）に創設された大西記念文献賞、およびそれを継承した文献賞を受け継ぎ、2011年度から設けられた本学会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす個人に贈られます。

1. 本学会員であること。
2. 独創性と将来性に富み、ORの発展に寄与する研究業績を挙げていること。

授賞対象とする研究業績は過去5年以内のものとし、毎年1名程度を表彰する予定です。（副賞金50万円／1名）

〔研究賞奨励賞〕

若手研究者個人を対象とする賞です。上の研究賞の条件に加えて被推薦者の年齢に関して次の条件があります。

被推薦者は、原則として応募締め切り時に満35歳以下であること。ただし、OR研究歴が短い方は、この年齢制限を超えていても構いません。

授賞対象とする研究業績は過去3年以内のものとし、毎年4名程度を表彰する予定です。（副賞金20万円／1名）

〔事例研究賞〕

ORの優れた事例研究に対して贈られます。毎年3件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

〔業績賞〕

ORの研究・教育・実施などにかかわる活動に顕著な業績を挙げた個人に対して贈られます。

ただし被推薦者は、原則として応募締め切り時に満40歳以上、満60歳以下の学会員であることが必要です。毎年1名程度を表彰する予定です。（副賞金10万円／1名）

〔普及賞〕

ORの普及への大きな貢献に対して贈られます。毎年2件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

〔実施賞〕

ORの強力な実施・推進に対して贈られます。毎年2件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

〔論文賞〕

2010年度より設けられた新しい賞です。過去1年間に本学会論文誌に掲載された論文のうち、特に優れたもの1編に贈られます。授賞論文の著者すべて（非会員が含まれる場合も全員）を表彰します。なお、論文賞の推薦は募りません。（副賞金30万円／1件）

〔学生論文賞〕

学生によるORに関する優れた研究に対して贈られるものです。対象は、来春提出される学部の卒業論文、または大学院の修士論文とします。毎年5編程度を表彰する予定です。学生・指導教員がともに本学会員であることが必要です。詳しい募集要項は、OR誌2月号に掲載します。

（表彰委員会）

● 2016年春季シンポジウム（第75回）

日程：2016年3月16日（水）

場所：慶應義塾大学 矢上キャンパス

● 2016年春季研究発表会

日 程：2016年3月17日(木), 18日(金)

場 所：慶應義塾大学 矢上キャンパス

実行委員長：栗田 治 (慶應義塾大学)

● 関西支部

関西支部URL：<http://www.orsj.or.jp/kansai/>

・ 関西支部シンポジウム

「個人情報保護法の改正とデータサイエンスの新潮流」

日 時：2015年11月14日(土) 13:00~17:30

場 所：京都府立大学稲盛記念会館102講義室(京都市左京区下鴨半木町1-5)

定 員：150名(事前申込不要, 参加費無料)

趣 旨：平成27年5月21日, 個人情報保護法とマイナンバー法の両改正案が衆議院を通過し, 参議院へ送られた。個人情報保護法は平成17年の全面施行後, 初めての大きな改正となる。この改正案は, 「ビッグデータ」の有効活用を可能にすることを目指している。データサイエンスの領域から, 匿名加工情報の利用などを通じたビジネスチャンスが生まれることが期待されている。その反面, プライバシー保護に対する安心を担保できるかについて, 国民的なコンセンサスの醸成が必要と思われる。このような状況を鑑み, 個人情報保護法とマイナンバー法の両改正を俯瞰し, データサイエンスの新時代の息吹を起こす契機となることを目指して, シンポジウムを開催する。

主 催：OR学会関西支部

協賛学会(依頼中を含む)：情報ネットワーク法学会, システム制御情報学会, ヒューマンインタフェース学会, IEEE関西支部, 電子情報通信学会関西支部, 情報処理学会関西支部

オーガナイザー：吉富康成(京都府立大学大学院生命環境科学研究科 教授)

プログラム：

- (1) 13:00~13:05 開会あいさつ
 岳 五一(甲南大学知能情報学部 教授, 日本OR学会関西支部長)
- (2) 13:05~14:05
 「個人情報保護法の改正とマイナンバー法施行」
 岡村久道(英知法律事務所 所長, 弁護士, 国立情報学研究所 客員教授)
- 14:05~14:10：休憩

(3) 14:10~15:10

「医療情報学における個人情報保護法改正の影響」
 黒田知宏(京都大学医学部附属病院医療情報企画部 教授)

15:10~15:20：休憩

(4) 15:20~16:20

「個人特定のリスクを低減させる匿名化技術」
 千田浩司(日本電信電話株式会社NTTセキュアプラットフォーム研究所データセキュリティプロジェクト 主任研究員)

16:20~16:25：休憩

(5) 16:25~17:25

「データサイエンスを牽引するソフトウェア環境」
 石田基広(徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部 教授)

(6) 17:25~17:30 閉会あいさつ

吉富康成(京都府立大学大学院生命環境科学研究科 教授)

懇親会：

(1) 時間：18:00~

(2) 場所：下鴨芦生(京都府京都市左京区下鴨西半木町82)

(3) 参加費用：5,000円

(4) 参加申込：2015年11月11日(水) 17:00までに, 吉富康成(京都府立大学)までメール(E-mail: yoshitomi@kpu.ac.jp)でお知らせください。

問合せ先：吉富康成(京都府立大学)

E-mail: yoshitomi@kpu.ac.jp, Tel & Fax: 075-703-5432

* 詳しくは, <http://www2.kpu.ac.jp/ningen/infosys/or-kansai-symp-2015.html> をご覧ください。

● 新宿OR研究会

【第352回 新宿OR研究会】

日 時：2015年10月20日(火) 12:00~14:00

場 所：東天紅会議室(新宿センタービル53F)

講 師：磯貝明文 氏((株)三菱UFJトラスト投資工
 学研究所 研究部上席研究員)

テーマ：「金融実務におけるOR手法の適用事例」

場 所：東天紅会議室(新宿センタービル53F)

参加費：3,000円(昼食代を含みます。事前にもメールにてお申込みください。)

問合せ先：日本OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● 研究部会・グループ開催案内

〔待ち行列〕

・第257回

日 時：2015年10月17日（土）14:00～17:00

場 所：東京工業大学大岡山キャンパス西8号館
（W）809号室

テーマと講師：

(1) 「価格に依存した需要をもつ最適発注・価格付け
モデルについて」

中出康一（名古屋工業大学）

(2) “Exact Throughput Capacity Study on Aloha
Mobile Ad Hoc Networks”

Yin Chen (Keio University)

問合せ先：神奈川工科大学 井家 敦

E-mail: inoie@nw.kanagawa-it.ac.jp

部会 URL：http://www.orsj.or.jp/queue/

● 研究助成募集案内

・平成28年度笹川科学研究助成

申請受付期間：

・学術研究部門…平成27年10月1日～10月15日

・実践研究部門…平成27年11月1日～11月16日

主な募集対象者：

・学術研究部門…大学院生（修士課程・博士課程）/
35歳未満の若手研究者

・実践研究部門…博物館，学校，NPOなどに所属
している者

問合せ先：公益財団法人日本科学協会 笹川科学研究
助成係

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5F

TEL: 03-6229-5365 FAX: 03-6229-5369

E-mail: josei@jss.or.jp

URL: http://www.jss.or.jp/ikusei/sasakawa/

● 他学協会協賛案内

他学会等が主催する大会やシンポジウムで当学会が
協賛しているものについては，主催学会の会員と同じ
費用で参加できる場合があります。詳しくは，各学会
にお問合せください。

・経営情報学会 2015年秋季全国研究発表大会

日 程：2015年11月28日（土）～29日（日）

場 所：沖縄コンベンションセンター

主 催：一般社団法人経営情報学会

協賛学会参加費：会員の参加費が適用されます。

WEB：http://www.jasmin.jp/activity/zenkoku_
taikai/2015_fall/

第27回RAMPシンポジウム

日 程：2015年10月15日（木）、16日（金）

会 場：静岡大学浜松キャンパス佐鳴会館

実行委員長：関谷和之（静岡大学）

プログラム委員長：田村明久（慶應義塾大学）

協 力：(株)NTTデータ数理システム

協 賛：(株)構造計画研究所

広告掲載：(株)朝倉書店、(株)オクトーバー・スカイ

後 援：静岡大学

参加申込：8月14日（金）から開始。詳細はRAMP2015ホームページ：<http://www.orsj.or.jp/ramp/2015/>

プログラム

10月15日（木）

10:00～13:00 「離散構造とアルゴリズム」

オーガナイザー：平井広志（東京大学）

- ・ 田部井靖生（JST さきがけ）「文法圧縮の理論と実践」
- ・ 塩浦昭義（東京工業大学）「L凸関数の最小化アルゴリズム：離散凸解析と諸分野との繋がり」
- ・ 石川 博（早稲田大学）「ビジョンにおける離散最適化」

14:30～17:30 「統計と最適化」

オーガナイザー：清 智也（東京大学）

- ・ 金森敬文（名古屋大学）「非凸最適化に基づく機械学習アルゴリズムのロバストネス」
- ・ 原 尚幸（新潟大学）「グラフの構造を用いた推測アルゴリズムの効率化について」
- ・ 高山信毅（神戸大学）「ホロノミック勾配法」
- ・ 田中研太郎（成蹊大学）「実験計画法と Group Lasso」

18:30～ 懇親会 21世紀倶楽部（浜松市中区旭町11-1プレスタワー15階）

10月16日（金）

9:30～12:30 「社会システムデザインとモビリティ」

オーガナイザー：脇 隼人（九州大学）

- ・ 岩崎 敦（電気通信大学）「最適化と繰り返しゲーム：動的環境における意思決定」
- ・ 吉良知文（九州大学）「数理技術に基づく社会的課題への挑戦」
- ・ 松尾久人（九州大学）「数理が支える社会基盤を目指す都市OS」
- ・ 恐神貴行（IBM東京基礎研究所）「人の選択の逐次的なモデル化」

14:00～17:00 「非線形最適化— その理論とその面白さ」

オーガナイザー：山下 真（東京工業大学）

- ・ 小島政和（東京工業大学名誉教授）「凸錐上の線形最適化」
- ・ 寒野善博（東京工業大学）「混合整数2次錐計画を用いたトラス構造の最適設計法」
- ・ 成島康史（横浜国立大学）「大規模無制約最適化問題に対する非線形共役勾配法とその周辺」
- ・ 奥野貴之（東京理科大学）「半正定値錐制約をもつ半無限計画問題に対するパス追跡型アルゴリズム」

RAMP2015ホームページ：<http://www.orsj.or.jp/ramp/2015/>

2015年度第2回ORセミナー

『技術者に有用なゲーム理論の基礎—経営戦略への応用』

セミナーの概要: 昨年のORセミナー「技術者のためのゲーム理論の基礎」は、大変なご好評をいただきました。前回のアンケートで東京以外の開催を希望する声がありましたので、今回は第2弾として、経営戦略に焦点を当てたゲーム理論のセミナーを関西で開催します。

昨年度のノーベル経済学賞を受賞したJean Tiroleが切り開いた産業組織論 (Industrial Organization) と呼ばれる分野は、特許・研究開発競争・投資競争・価格競争など企業の競争をゲーム理論のモデルを用いて分析し、新しい経営戦略論に応用され注目されています。

これらの理論の骨子は、簡単な数理モデルで表されるためOR実務家やエンジニアには学びやすく、マーケティング、サプライチェーン、財の取引などのシステム構築に対してもよいアイデアを提供するため、興味も持ちやすいものです。しかし日本の多くの理・工学部には、これらの講義はほとんどなく勉強のきっかけがつかめないので現状です。

本セミナーでは、簡単な1次関数や2次関数のモデル等でこれらの基礎を学び、さらにこのモデル分析の結果をビジネスに活用する考え方について学びます。

日時: 2015年12月5日 (土) 9:50~17:00 (9:15開場)

会場: 大阪大学中之島センター 講義室507 (大阪市北区中之島1-2-10)

<https://www.onc.osaka-u.ac.jp/index.php>

主催: OR学会関西支部, 「ORにおけるゲーム理論」研究部会

コーディネーター: 渡辺隆裕 (首都大学東京) 連絡先: hp2@nabenavi.net

プログラム:

9:50~ 9:55 開会挨拶 (OR学会関西支部)

9:55~10:00 セミナーの概要 (渡辺)

10:00~11:30, 12:30~13:00 (2時間) 渡辺隆裕 (首都大学東京) 「初歩から学ぶクールノー競争とベルトラン競争」

まず、ゲーム理論の経営戦略への位置づけを簡単に述べ、次に簡単な線形モデルのクールノー競争とベルトラン競争のモデルを学びます。さらにコストダウンの効果や市場拡大の効果にこれらのモデルを応用し、理解を深めます。

13:15~15:15 (2時間) 三道弘明 (大阪大学) 「ゲーム理論で解く2社間の競合戦略 (価格、広告、品揃えなど)」
経営戦略への応用が大きいホテリングモデルを、簡単な線形モデルで学び、価格競争・製品の多様化戦略・参入戦略などへの応用を知る。具体的には、価格競争が起こる理由、品揃えに大きな差が出る大手スーパーと地元スーパーの戦い、広告 (あるいはチラシ) と価格の戦略、通常の店舗小売りの市場にネット通販が参入して影響などを例にする。

15:25~16:25 (1時間) 松林伸生 (慶応義塾大学) 「ビジネスへのゲーム理論の活用」

ゲーム理論によるモデル分析の結果を実際のビジネスに活用する上での考え方、注意すべき点について、例を用いながら議論する。またマーケティング、ITビジネス、サプライチェーンなどの分野における意思決定の際にゲーム理論が与える示唆についても可能な範囲で触れる。

16:25~16:45 (20分) 質疑応答とまとめ (渡辺)

参加費 (テキスト代込み): 正・賛助会員 (協賛学会員を含む) 5,000円, 学生会員 1,000円, 学生非会員 1,500円, 非会員 20,000円

セミナー参加特典: 個人非会員 (賛助会員含む) は入会金無料で入会でき、2015-16年度の年会費は免除されます。

申込先: OR学会事務局 (E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp) お名前, ご所属先, 正会員/賛助会員/協賛学会員/学生会員/学生非会員/非会員の別, お支払い予定日を記載してメールにてお申込みください。セミナー特典利用ご希望の場合, ご所属先宛の請求書が必要な場合, その旨をお書きください。

申込締切: 2015年11月25日 (水) ただし定員になり次第, 締め切ります。

振込先: みずほ銀行根津支店 (店番号235) 普通1530801

口座名: 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

協賛学会: 日本経営工学会 (JIMA), 日本品質管理学会 (JSQC), 日本信頼性学会 (REAJ), 研究・技術計画学会 (JSSPRM), 日本設備管理学会 (SOPE-J), プロジェクトマネジメント学会 (SPM)

2015年度年会費納入のお願い

2015年度年会費の請求書を2014年12月に発送いたしました。

大学または、会社宛の請求書が必要な場合は、以下をメールにて事務局にお知らせください（会員氏名、請求金額、請求書宛名（個人名／法人名／法人名＋個人名）請求書の日付指定の有無、様式の指定…請求書／見積書／納品書、指定用紙など）。

OR学会の事業年度は3月～翌年2月までです。

学生会員年会費無料化キャンペーン

OR学会では学会活性化の一環として、2013、2014年度に引き続き、2015、2016年度も「学生会員年会費無料化キャンペーン」を実施中です。

1) 学生新入会希望で、かつ指導教員が正会員の方は、2015年度・2016年度の学生会員年会費5,000円は無料となり、入会金600円でご入会できます。

- ①WEBからの入会申込み
- ②入会金600円のお振込み
- ③指導教員様からの応募メール（「指導教員様のお名前、ご所属、学生の方のお名前、ご所属、メールアドレス」）

以上3点をもって、無料化受付が完了します。

2) 学生新入会希望で、指導教員様が非会員の場合は、「学生会員年会費無料化キャンペーン対象外」となり、通常の年会費5,000円が必要となりますので、ご注意ください。

3) 6月に「学生証PDF送付依頼」のメールを送りました。返信をよろしくお願い致します。

学生会員から正会員への変更

学生会員はご卒業やご就職により、2015年4月から社会人になる場合でも、2016年2月末までは学生会員扱いとなります。

2016年度（2016年3月～2017年2月末）より正会員となります。正会員年会費14,400円を2015年11月以降に請求させていただきます。

ご卒業やご就職による「住所・所属先・OR誌郵送先の変更」や「退会希望」については必ず事務局にご連絡ください。

シニア会員について

正会員のうち、20年以上正会員を継続し、会費を完納している60歳以上であり、定常収入を有しない方は、理事会の承認によりシニア会員になることができます。申請／承認後、翌年度よりシニア会員となります。シニア会員の会費は7,200円です。

特別会員について

正会員のうち、身体障害者手帳をお持ちの方は、その手帳の写しを事務局に提示していただくことにより、特別会員として年会費半額の免除制度があります。申請／承認後、翌年度より特別会員となります。特別会員の会費は7,200円です。

年会費専用振込み口座

年会費（不課税）：正会員 14,400円、
学生会員 5,000円、
シニア会員 7,200円

口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

ゆうちょ銀行：東京00190-6-79492

みずほ銀行：根津支店（店番号235）普通1124744

*手数料は払込人負担でお願いいたします。

*お名前はフルネームでお書きください。

年会費の口座振替（正会員・シニア会員）

年会費の銀行口座自動振替ご希望の方は、事務局までご連絡ください。銀行所定の用紙をお送りいたします。（2016年度年会費からが対象となり、引き落としは2016年1月20日の予定です。）

OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5

サン・チカビル7F

TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055

*各種お届けは、メールにてご連絡ください。

（住所／所属先／メールアドレス／OR誌送付先等の変更、退会届）

会員氏名と新旧の変更内容をお書きください。